

平成30年度 社会福祉法人 平成福社会 本部事業報告書

一. 法人概要 (1) 設立等	認可年月日	平成元年7月4日	(2) 法人運営	理事	定数 8名
	登記年月日	平成元年7月14日		監事	定数 2名
(3) 経営事業					

事業の種別	名称	定員	事業開始
1種 障害者支援施設(施設入所支援・生活介護)	シャイン	50名	平成22年10月1日
2種 障害福祉サービス事業(短期入所)		2名	平成5年4月1日
2種 介護老人保健施設	ハイム・ゾンネ	84名	平成12年4月1日

二. 法人本部の役割

理事長直属の機関として、両施設における①コンプライアンス(法令遵守)の徹底と②相互牽制と規則に基づく組織運営(コーポレートガバナンス)による不正行為発生防止機能や③危機管理機能、④情報公開機能を担うとともに、当会が民間事業者としての創意工夫や経営の効率性を発揮し⑤地域の付託に応え、良質なサービスを合理的な価格で持続的かつ安定的に提供するために必要な利用者処遇向上ならびに職員の人事施策を企画立案し、⑥両施設の運営を機動的に支援しました。

三. 役員会等の開催状況

1. 理事会評議員会の開催状況と審議事項 なお議事録署名人は、理事会は出席理事及び監事全員。評議員会は都度、評議員会議長が2名を指名する。

(1) 平成30年6月2日 第1回 理事会				
議案	①平成29年度 事業報告について	議案	⑤理事及び常務理事の職務の執行状況について(平成30年3月～平成30年5月)	
	②平成29年度 決算と監事監査結果		⑥定時評議員会の招集事項(招集通知に記載する事項)について	
	③平成29年度 社会福祉充実残額の算定結果について		報告	①大口寄付の報告
	④老人保健施設ハイム・ゾンネが、平成30年度介護報酬改定で示された「基本型」の基本報酬を算定するために必要な重要事項			
(2) 平成30年6月23日 第2回 理事会				
議案	①基本財産の処分(建物の取り壊し)について	議案	②定時評議員会の招集事項の追加について	
(3) 平成30年6月23日 第1回 評議員会				
議案	①平成29年度 事業報告について	議案	④基本財産の処分(建物の取り壊し)について	
	②平成29年度 決算と監事監査結果		報告	①大口寄付の報告
	③平成29年度 社会福祉充実残額の算定結果について			
(4) 平成30年9月22日 第3回 理事会				
議案	①理事長及び常務理事の職務の執行状況について(平成30年6月～平成30年9月)	報告	②老人保健施設ハイム・ゾンネの『厚生労働省認定「経営力向上計画」に係るICT(情報通信技術ツール)を用いるケア管理システム導入事業』の入札結果と今後の方針について	
	②平成30年度 老人保健施設ハイム・ゾンネ 第一次補正予算(案)		③基本財産処分手続きに関する経過報告	
	③平成30年度 法人本部 第一次補正予算(案)		④障害者支援施設シャインの浴室設備改修に係る研究着手	
	④臨時評議員会の招集事項(招集通知に記載する事項)について		⑤第29回ふれあい納涼祭「佐用のうまいもの市～おいしいごはんを食べよう」開催報告	
報告	①平成30年度 社会福祉法人に対する指導監査の結果について			
(5) 平成30年10月13日 第2回 評議員会				
議案	①平成30年度 老人保健施設ハイム・ゾンネ 第一次補正予算(案)	報告	通信技術ツール)を用いるケア管理システム導入事業』の入札結果と今後の方針について	
	②平成30年度 法人本部 第一次補正予算(案)		③基本財産処分手続きに関する経過報告	
報告	①平成30年度 社会福祉法人に対する指導監査の結果について		④障害者支援施設シャインの浴室設備改修に係る研究着手	
	②老人保健施設ハイム・ゾンネの『厚生労働省認定「経営力向上計画」に係るICT(情報		⑤第29回ふれあい納涼祭「佐用のうまいもの市～おいしいごはんを食べよう」開催報告	
(6) 平成30年12月8日 第4回 理事会				
議案	①理事長及び常務理事の職務の執行状況について(平成30年10月～平成30年11月)	議案	③就業規則の改定～短時間正社員制度の新設ほか	
	②平成30年度 障害者支援施設シャイン 第一次補正予算(案)		報告	①基本財産処分手続きに関する経過報告
(7) 平成31年3月2日 第5回 理事会				
議案	①平成30年度 補正予算	議案	⑤臨時評議員会の招集事項(招集通知に記載する事項)について	
	②平成31年度 事業計画		報告	①解体工事に係る競争入札結果と工程について
	③平成31年度 収支予算			
	④理事長及び常務理事の職務の執行状況について(平成30年12月～平成31年2月)			

(8) 平成31年3月30日 第3回 評議員会	報告	①基本財産処分手続き(建物解体、土地の一部売却)の経過報告
議案	①平成30年度 補正予算 ②平成31年度 事業計画 ③平成31年度 収支予算	

2. 監事監査 令和元年5月11日 実施予定

3. 経営企画会議の開催状況

〔開催日〕 4月24日,5月22日,7月24日,8月21日,9月11日,10月30日,11月27日,1月29日,2月19日,3月26日

〔参加者〕 大田理事長、辻本常務理事、大田真路理事、尾崎理事、関施設長、早川施設長、林事務長

四. 重点課題への取り組み

1.	法人課題への取り組み・・・ <b>経営判断に必要な情報収集と、企画執行</b>																
(1)	土地売却と建物解体	一部の土地の売却代金で旧工場群を解体、“持ち出し”することなく危険を除去し、有効活用面積が約2倍となる計画を執行中。他方、“農道化”の要望に対しては論拠が事実でない反証、継続協議扱となっています。															
(2)	入札の執行	システム投資と解体工事の2件を執行、いずれも再度公告入札で最終選定															
(3)	保存文書の溶解処理	ダンボール約300箱(4,620kg)の保存年限到来文書を兵庫製紙に処理委託															
2.	危機管理・・・ <b>リスクの予測・評価と機動的な施設支援</b>																
(1)	シャイン職員面接(7月)	高い離職率が更に悪化する兆しが見えたため、一般職員の心情や職場環境の実態を、法人本部が直接把握するために実施したもの。															
(2)	ゾンネ医療過誤(疑)	言葉を発することができない97歳(要介護5・全介助)利用者の左大腿骨骨折事案。家人と面談、法人本部も重大な関心を持って、施設の原因究明作業を見守っている旨、説明。施設は調査結果を報告、一定の理解を得た。															
3.	法人一体運営・・・ <b>法人単位の経営を担保する仕組み</b>																
(1)	ガバナンス(法人統治)	専横を許さない体制構築のため諸規程を整備したが、資質に負うところ大															
(2)	決済ライン	なお資金と人事運営は、理事長と常務理事決済を要する基準を設けることで、三拠点の一体運営体制と、多層監視体制を確保しています。															
	(会計・給与システムは本部・施設統合済)																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>本部</th> <th>ハイム・ゾンネ</th> <th>シャイン</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起案総数</td> <td>99</td> <td>210</td> <td>161</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>うち理事長(%)</td> <td>7(7.1)</td> <td>21(10.0)</td> <td>53(32.9)</td> <td>81(17.2)</td> </tr> </tbody> </table>		本部	ハイム・ゾンネ	シャイン	合計	起案総数	99	210	161	470	うち理事長(%)	7(7.1)	21(10.0)	53(32.9)	81(17.2)
	本部	ハイム・ゾンネ	シャイン	合計													
起案総数	99	210	161	470													
うち理事長(%)	7(7.1)	21(10.0)	53(32.9)	81(17.2)													
4.	経営戦略・・・ <b>当会を維持・発展させる仕掛け</b>																
(1)	コンプライアンス(法令遵守)	県情報公開システムで自主点検結果を公表(1月4日)、法人本部は家族懇談会で報酬改定や経営方針・トピックスの説明(6月14日)。															
(2)	働きやすい職場づくり	業務効率化(負担軽減)を狙った <b>ケア管理システムを導入</b> し、同一労働・同一賃金を具現化した <b>短時間正職員制度、介護・育児支援制度を構築</b>															
(3)	人材育成・・・役割期待の認識・自覚を促し、当会サービスの質的向上を狙うもの。																
(ア)	キャリアパス制度	副主任登用の基本条件とした介護福祉士資格取得者は累計16名。															
(イ)	処遇改善	定昇・賞与(基本給×4カ月)を維持。処遇改善加算は最高額(月3万7千円)を算定、満額支給。(改正就業規則は新年度より施行)															
(ウ)	プロジェクト・リーダー制度(別添資料②)	テーマ毎に異なるリーダーが、期限内にチーム内の意見を集約し結論を上申する制度。実質的な <b>権限移譲</b> により、幹部候補生の育成を狙う。															
(エ)	職員自己評価	職務への期待水準を示した「評価基準」に基づく自己評価を継続実施															
(4)	設備・機器の更新	老朽化と職員平均年齢上昇を鑑み、利用者・職員にとって安全な環境を維持すべく、職員要望や機器研究をふまえ計画的に実行しました。															
(5)	地域貢献・公益的な活動・・・地域の付託と期待に応える公益性の発揮。ただし当会職員に過度な負担が生じず、資金負担も小さい企画を立案・実行しました。																
(ア)	ランチ業務受託	地域包括支援センター時、ハイム・ゾンネが取次ぎ業務を担う。(平成29年～)															
(イ)	中山間地における防災面の共助	災害発生前に、当会が自主的に一次避難所を立ち上げ、地域の要援護者を受け入れる体制整備に着手。初訓練:6月22日															
(ウ)	清掃活動	「善意の日」に国道179号線(佐用坂～卯の山峠)を清掃(平成19年～)															
(エ)	X mas保育園訪問(平成23年～)	南光から平成28年に上月、平成29年に佐用・二日月に拡大。サンタに扮した職員が、町内の全園児358名に同じ靴型お菓子、園には希望する電化製品(シュレッダー、掃除機×2、ポット、ファンヒーター、空気清浄器)を贈呈															
(オ)	消防団夜食差入(平成24年～)	南光支団・二日月支団の年末夜警団員130名(前年77名)に、シカ肉(春巻き)と佐用ひまわり地鶏(チキンカツ)を主菜とする弁当を無償提供															
(カ)	納涼祭～佐用うまいもの市	地元産品の提供と、園児・児童が活躍する場を設けることで、生産者と消費者、世代各層をつなぐ機会を創出。協力いただいた演者・ボランティアは160名、来場客は約1,300名、4,611食は約1時間で完売しました。															
(キ)	シカ肉給食と地産地消の推進	お楽しみ給食や納涼祭、「和食の日(11月22日)」に、地域の旬の食材と“ダシ”にこだわった伝統的な和食や、シカ肉料理を提供しました。															
(ク)	独自減免など	他施設で有料の費目を無料とし、日常消耗品を廉価提供することで、ハイム・ゾンネは特養並の自己負担額(月平均で約7万1,070円)を実現															
(ケ)	法律講習会開催(本年度初)	顧問の藤田・川崎法律事務所の協力の下、利用者家族を対象とした『おいへの備え～成年後見と任意後見』講習会を開催(37家族参加)															